目次

1. 労働組合戦線統一運動支持に関する件
2. 現行二場法外の労働者に対する災害保證法即時制定要求の件
3. 臨時雇傭制度徹底的排撃に関する件
4. 対支出兵絶対反対決議の件
5. 朝鮮労働者差別待遇即時撤廃の件
6. 治安維持法改正絶対反対の件
7. 労働者診療所積極的支持の件 …… 以上本部提出
8. 日本労農前衛講話に関する決議案 …… 本所第二支部提出
9. 関東合同労働組合方針書 …… 川口支部提出
10. 関東合同求部建設に関する件 …… 下谷染色工支部提出
11.

労働組合戦線統一運動支持に関する件

提案理由

組合同盟昭和三年度で決せられた「労働組合戦線統一」に関する方針は特に組織労働大衆の当面の任務を明示したものである。

組合同盟大会は戦線統一の方針に於て次の如く述べて居る。

「ふに今日の組合戦線分裂の直接間接の原因は分つて三つとなすことが出来やう。一つは各労働組合が支持する政党を異にすることから来て居り、ばかりでなく政党的対立が有形に拘らず労働組合の発生、存展の段階なそに帰因するものである。前者は直接の原因であるが、根本的原因は後者に求めなければならない。故に後者の障碍を除去する迄は、全労働組合の産業別合同の実現であり、後者の障碍を除去する迄は、全労働組合の産業別合同の実現である」

組合同盟は此の戦線統一実現の為の提案を第二回中央委員会の決定の下に、日本労働組合総聯合の「全国労働組合会議の提唱」に合流せんとした。従つて我等が多年の要求たりし労働組合の戦線統一運動は今や現実上の問題となりたるに等は此處に此の重大なる労働組合戦線統一の成功を期さねばならぬ。